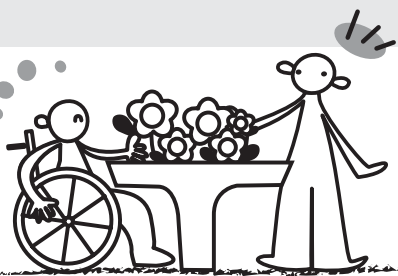


PART 1 まちへやさしい足跡 はじめの一步!

福祉のまちづくりの第一歩を着実に踏み出した「はじめの一步部門」の3団体の活動報告をご紹介します



認知症にやさしい地域づくり (支えあい 広めよう)

白い箱の会

- 活動報告
- 900~950部の情報誌を発行した。活動場所も1箇所増え6箇所にあり、情報誌を読んで頂ける範囲も徐々に広がってきた。
 - 推進講座を2回行い、第1回目のアンケート結果では、「傾聴」を生活の役に立てたい」という前向きな意見がたくさん得られ、新たなメンバーが増えた。第2回目のアンケート結果からは、「地域の住民と障害者の方が共に地域づくりをしているということは今まで知らなかった」などの意見を得られた。
 - 大泉学園の「やまぼうし」や、「認知症予防しようネット」を見学した。東京都立第四商業高等学校の生徒との連携は来年も続けていく。
 - 情報誌をどのようにみんなが読んでいるのか、ということ意識調査をして今後の活動に活かしていきたい。

- 講評から
- 大変活発に活動されている。今後の展開が期待される場所である。一人暮らし高齢者の安否確認につながると素晴らしい。
 - 地道な活動で継続が望まれる。情報紙の発行が大きな柱で、質の向上・読みやすさ・対象の絞込みが望ましい。



ワークショップ「ひまわり」

ひまわりネットワーク

- 活動報告
- 年度当初は、活動についての打ち合わせや、地域の小学生と氷川台福祉園の利用者が共に作ったデザインを作業用エプロンにプリントするなどの準備に追われた。秋以降は、定期的なリサイクル・清掃活動を行うことができた。
 - 活動を通して、地域の中の施設に通う障害者と地域住民の交流の輪を広げられた。NHKで活動が放映され、地域の方から活動日を教えて欲しいなどの声をかけられる事があった。
 - 町会の回覧板等を利用し、地域のより多くの方に知ってもらい、お互いの顔が見える関係を広げていきたい。

- 講評から
- 学校PTAにもこれらの活動を伝えてほしい。
 - 次は掃除の途中でどこかのお宅でお茶を飲めるなど、もう少し踏み込んだ個人対個人の関係が作ってけると素晴らしい。



e コミュニケーション (障害のある方とのIT 交流会)

e コミュニケーションねりま

- 活動報告
- パソコンの支援をしながら、交流会を開催し、親睦会もかねて、障害のある方への理解を深めることにした。利用価値がある名刺づくりを講習のメインにし、勉強会からスタートした。
 - 知り合いの障害者の会に参加のお願いをして、中学生・高校生5名、保護者の方に参加してもらい、名刺作成後は、仲間同士で交換をして出来映えを楽しんだ。
 - 終了後のアンケートで、来年度以降も続けて欲しいという要望を頂いた。
- 講評から
- 中高生中心のワークショップのようだが、高齢者のパソコン講習会の需要もある。活動内容を検討・区に相談してほしい。



PART 2 やさしいまちのモノ・コト パートナーシップで!

福祉のまちづくりの具体的な企画を実施したり、ものや場所を作る、「パートナーシップ活動部門」の地域活動助成及び設備整備助成の5団体の活動報告をご紹介します

ハッピーライフのご提案 認知症にやさしいまちづくり

認知症予防推進員の会 ミニ講座・劇グループ

- 活動報告
- パンフレットと紙芝居を使いながら、講座を行った。また、時には表現を変えて劇を上演した。活動回数が35回、参加人数も1658人と、計画より大変多くの区民にミニ講座を聞いてもらえた。
 - 受講者が、ミニ講座を聞くことで生活習慣をいい方向に変えている。
 - ウォーキングのグループを作って、地域に広げていきたい。
 - 認知症介護についての質問が増えてきたので、介護等についてもこれから学習しながら、予防と介護ということを進めていきたい。
 - 参加者の多くが認知症予防をしてみようと思ったり、必要性を感じていることから、ミニ講座を柱とした認知症予防を事業として継続し、認知症になった人にもやさしいまちづくりの強化を目指す。また、地域資源としての役割を担うようにしたい。
- 講評から

- 劇での紙芝居利用が面白い。効果的だと思う。参加者がなにかできるワークショップにしてほしい。
- 活動が具体的であるのが良い。教えるのではなく楽しめる演劇を。「なにかになる」「演じる」ことが一番予防になるのではないか。



モビリティマネージャの養成

特定非営利活動法人 移動支援フォーラム (研修担当)

- 活動報告
- 昨年は事業者の方が使えるような非常に情報量の多いハンドブックを作ったが、ユーザーの方が使いやすく、わかりやすいハンドブックに編集しなおした。
 - 区内の団体について、どのような車があるという情報のほか、区の施策で、支援が必要な場合の移動に関する支援制度を大きい字で分かりやすくまとめた。
 - 練馬区役所でバリアフリー情報発信というシンポジウムを行った。
 - ヤフーのわいわいマップというウェブ上のマップにバリアフリーマップを作ろうという試みをしたが、情報がなかなか集まらなくて、現在は、ウェブ上で確認できるような情報を中心に書き込んでいる。
- 講評から
- バリアフリーマップをGoogleマップで実現したというのは、大切なこ

- とどと思う。しかし、練馬区の障害者がこれらの情報をどのように利用しているのかがよく分からなかった。
- 利用される方が増えてくれればと思う。



はじめの一步部門 & パートナーシップ活動助成部門
このような流れで進みました!

